

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」金沢横川校			
○保護者評価実施期間	2025年11月17日 ～ 2025年12月20日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	54名	(回答者数)	41名
○従業者評価実施期間	2025年11月17日 ～ 2025年12月20日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月7日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	学校等との連携を保護者様のご要望に合わせて行い、その上で支援を行っている事。	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者様からのご要望等に合わせて、こちらでの支援の様子や取り組み等を、学校や他事業所の方と共有する場を設けている。 ・学校での様子等を詳細に知る事ができ、支援にその情報をいかす事ができている。 ・きらりの利用をJ学校長の許可を得た上で、学校の出席扱いにして頂いている利用者様もおられ、よい協力関係を築けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者様に、学校等の他関係機関との連携を図れることを今後も継続してお知らせしていき、連携の機会を増やせるようにしていく。 ・連携を必要としている利用者様・保護者様がいる事を早期に把握し、行動できるように利用者様・保護者様との情報共有をこまめに行う事や、複数人の職員の多角的な視点から、利用者様・保護者様の心に寄り添える体制作りを強化していく。
2	様々な視点からの個別支援をおこなっている事。	<ul style="list-style-type: none"> ・保育士や教員免許を持った職員や、心理関係の大学の学部を卒業した職員がおり、それぞれの職員の様々な視点からの意見をいかし支援を行っている。 ・自校舎だけでなく、他校舎の職員との交流の機会を設け自分の専門とは異なる資格を保有している方とも意見交換を行うことで、支援の質の向上を図っている。 ・保護者様にご了承を得た上で、支援の事例検討会を開催している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・他校舎職員との横のつながり、交流会の機会を継続して確保していきながら、保護者様の了承を得た上で、他校舎の支援見学等も行い、支援の質の向上の機会を作っていく。
3	安心安全に利用できる環境づくりをしている事。	<ul style="list-style-type: none"> ・月に1回「爆発・火災・水害・地震・暴風(竜巻)・不審者対応」のいずれかのテーマで防災・防犯訓練を実施している。また、地震に関しては年間2回、児童も参加型で訓練をしている。 ・定期的に安全点検を実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員間で実際の有事が起きた事を想定した質の高い訓練を継続して行う事。 ・現在行っている訓練からその後の対応や2次災害として想定しうる事を訓練していく。(心臓マッサージ等)

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所の環境面で課題があること。	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所が大きな一つのフロアになっており、個室等の環境がないため、支援中の声や音などが教室内に響く事がある。音に敏感な方の支援の際には注意をする必要がある。 ・入り口前に段差があるため、完全なバリアフリーとなっていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音に敏感な利用者様の支援時間を調整したり、場合にに応じてパーティション等で区切る等の必要な工夫を行っていく。 ・段差等への配慮が必要な方に合理的な配慮を正しくなせるように、スロープを準備しておく。
2	保護者会、ペアレントング研修等を含めた保護者同士の交流や学び・意見交換の場の提供。	以前は小学校に入学を控えている保護者様同士の交流会や、高校受験や進学を控えている中学生の保護者様同士の交流会等を行っていたが、感染症予防等を考慮し開催が行えていなかった。	今後、保護者様の要望やニーズに応じて、保護者様同士の交流の機会を設けていく。また、県や市が開催している研修等の情報提供も継続して行っていく。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こどもサポート教室「きらり」金沢横川校

公表日 2026 年 1 月 23 日

利用児童数

54名

回収数

41名

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	37	4	0	0	・座っての取り組みなら大丈夫ですが、体を動かす等の場合はせまい。 ・勉強するには十分だと思う。 ・ボール遊びの際、狭く感じる。	ご意見ありがとうございます。ご迷惑をおかけし申し訳ありません。ボール運動等の活動をするのは、同時間の利用人数によっては狭いお時間もありますが、パーテーション等で区切ったり、配置を工夫したりしながら最大限必要な活動ができるよう努めていきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	37	1	0	3	・月1回の利用の為、よく分からない。	・ご意見ありがとうございます。利用回数の多い少ないに関わらず、必要な情報が漏れなく伝わるよう今後も努めていきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	34	5	0	2	・本当は個室の方が良い。 ・子どもの目線に合わせたり、自立して片付ける仕組みがあると更に良い。 ・他の利用者の方々の声や物音が聞こえてしまい、子供が集中できているかは疑問があります。（1つの空間を間切りしている為、仕方ないとは理解していますが。）	・ご意見をいただきありがとうございます。 個室がある校舎もありますので、必要に応じてご案内できたいと思います。また、パーテーション等で区切りながら最大限配慮していきます。「自立して片付ける仕組み」に関しては、貴重なご意見ありがとうございます。お子様の成長・発達を促す事ができる環境整備に今後も努めていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	40	0	1	0	・パーテーションで区切ってあるだけなので声や音で集中できない時がある。	・ご意見をいただきありがとうございます。 教室配置や利用時間帯の調整を行い、お子様が活動しやすい環境作りに努めていきます。
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	38	2	0	1	・子どもにとって何がよいか色々考えて下さり感謝しています。	・ご意見をいただきありがとうございます。 職員一同、有難いお言葉を胸に今後も支援に取り組んでまいります。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	35	2	0	4		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	36	1	0	4		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	32	3	0	6		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	35	3	0	3		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	33	3	0	5	・学校、通級では、勉強を嫌がるが、ここでは工夫されており、できている。	・ご意見をいただきありがとうございます。 今後もお子様一人ひとりの状況に応じた支援を提供できるように努めていきます。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	6	3	14	18		
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	38	1	0	2		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	36	2	0	3		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	9	5	5	22	・親の学びの場があれば参加したい。	・ご意見をいただきありがとうございます。 ぜひ開催できたいと思いますので、開催の際はご参加の程、よろしく願いたします。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	37	3	0	1		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	34	3	3	1		

保護者への説明等	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	40	1	0	0	・本当にそう思います。	・ご意見をいただきありがとうございます。 職員一同、有難い言葉を胸に今後も支援に取り組んでまいります。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	7	5	8	21	・掲示板で見る気がする。	ご意見を頂きありがとうございます。今年度は保護者様を対象とした交流会は開催する事ができませんでした。来年度以降は保護者様のご希望や必要に応じまして開催を検討していきます。また、祝日等に行っております「きらりひろば」では、きょうだいの方の参加も可能です。ご希望がありましたら、職員までお知らせください。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	26	8	0	7		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	35	5	0	1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	28	4	1	8	・見ていない。 ・特に必要ないと感じている。	・ご意見をいただきありがとうございます。 ホームページにて自己評価の公表やブログ、SNSを活用して活動の様子を保護者様にはご了承を得た上で発信させていただいております。説明が不足しており申し訳ございません。お悩みを抱えておられる方までこういったサービスがある事が伝わるよう広報活動もさせていただきます。たくさんの方の広く認知してもらえよう今後も情報発信に努めていきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	39	0	0	2		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	27	5	1	8	・契約時に説明があったかと思うが忘れてしまった。	・ご意見をいただきありがとうございます。 各種マニュアルを策定し、訓練も実施しております。今後も安心安全に通う事ができる事業所であり続けるよう努めていきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	25	5	1	10	・掲示板で見る気がする。 ・月1回の利用のためよく分からない。	・ご意見をいただきありがとうございます。 毎月、防災・防犯の訓練を実施しております。また、3月と9月には利用者様も参加型の訓練も実施しております。安心安全に通える事業所であるとともに、防災防犯の正しい知識をお子様へ伝える機会を今後も確保していきます。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	31	1	0	9	・最初に説明があったかと思うが忘れてしまった。	・ご意見をいただきありがとうございます。 安全計画を策定し、それに沿った訓練・安全点検を実施しております。計画につきましては今後も保護者の皆様にご周知をしていきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	28	4	0	9	・最初に説明があったかと思うが忘れてしまった。 ・そのような状況になった事がない。 ・事故や怪我がないためよくわかりません。	・ご意見をいただきありがとうございます。 事故等が発生しないよう支援を進めていく事は大前提ではありますが、万が一発生した場合には、速やかに正確な情報をお伝えし、真摯に対応させていただきます。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	41	0	0	0		
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	32	8	0	1	・いつもとても楽しみにして通所しています。 ・勉強は嫌だが頼りにしていると思います。 ・親も子どもとても満足している。 ・きらりに行く事を毎回楽しみにしているようです。先生方がお話を聞いてくれたり、色々な事を一緒にしてくれるので、きらりでの安心感が「学校でもがんばろう」という気持ちにつながっていると思います。 ・嫌ではないが面倒くさがる時がある。	・ご意見をいただきありがとうございます。 たくさんの有難い意見をいただきありがとうございます。今後も児童が前向きに活動に取り組む事ができるように支援を提供していきます。また、面倒くさがるお子様もいらっしゃるかとは思いますが、「きらりだから頑張れる・楽しめる」という所から次のステップにつながるように今後も努めていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	38	3	0	0	・本人は少し明るくなり、学校以外では、人と話を前よりもできるようになり、とても良かったです。いつもありがとうございます。 ・いつも感謝しています。 ・面倒見は良いが、専門性が感じられない。	・ご意見をいただきありがとうございます。 たくさんの有難い意見をいただきありがとうございます。今後も児童が前向きに活動に取り組む事ができるように支援を提供していきます。専門性に関しては、ご心配をおかけし申し訳ありません。他校舎とも連携しながら、各々の専門分野を学び合える研修の機会を定期的に設けています。今後も各職員が自身の支援の質の向上を目指し、研修をおこなってまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		「きらり」金沢横川校				公表日	2026 年	1 月	23 日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・ワンフロアの教室であるため、個別支援ではあるが、サポートが必要な際に児童や指導員の声を聞き、サポートできるようにしている。 ・マンツーマンで支援スペースを区切って支援をしている。	・教室内はワンフロアで個室がないため、人数が多い時間は他児の声が聞こえる。また、運動したい児童にとってはスペースの確保が難しい時もある。時間帯等を調整したりスペースを区切りながら最大限ニーズに沿えるよう努めたい。			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○		関係法令に則った職員配置で行っています。				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・パーティションで仕切ったり、支援場所を番号で識別できるようにしている。 ・教室内は段差が無くバリアフリー化されている。	・音が敏感な児童はワンフロアの為、気になる可能性がある。利用時間帯を調整する等しながら、支援を行っている。 ・トイレが1つしかないため、やや不便ではある。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・広く使えるように児童の支援スペースの配置を考えている。また、掃除や消毒をこまめに行う事ができている。				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・パーティションで区切られるため、子どもの使いたいようにスペースを使える。 ・児童の特性等に応じて配置を固定するなどの配慮をおこなっている。 ・定期的に安全面の点検を行っている。	・個室がない。パーティションで個室スペースを作る事はできるが、音は聞こえる。			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		・まずは、各々が考えながら業務にあたり、出てきた課題に対しては他の職員とも相談をし進める事ができている。 ・研修やミーティングを定期的に開催し、学習機会を設けている。				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		アンケートで寄せられた意見等を全体で共有し、事業所運営及び環境の改善に役立てている。				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		定期的にミーティングを開き、業務の進め方について共有し、改善点等がないかを確認している。				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		・現在、第三者評価は行っていません。			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・年間を通して研修を開催しており、意見交換や学びの機会が確保されている。				
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		行政が指定する方法に沿ってプログラムを作成し公表している。				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		・きらりで統一したアセスメントシートを活用しながらアセスメントを行っている。個別支援計画もアセスメントシートや直接聞き取った情報等を考慮し作成している。				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		定期的なモニタリング会議の場だけではなく、日常的に職員がお子様の情報について共有できる場を設けている。				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・支援に入る際の申し送りや支援後の次回の方針の話を綿密に行う事ができている。				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・自分が見ている姿だけが真実だと思いこまず、他の指導員や他の場所での様子も加味して支援を考えるようにしている。 ・きらりで統一されたアセスメントシートを使用している。				

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・5領域に合わせた計画を立てている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・担当指導員、他指導員がモニタリングを行い、プログラムを立てている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・活動プログラムの定期的な見直しを行っている。 ・個別支援計画の更新や、保護者様からのご要望や利用者様の変化に合わせて見直し、共有するようにしている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		・小集団イベントに参加する児童は、集団への参加に応じた支援内容が組み込まれている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・朝終礼の中で共有をし、記録を残している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・朝終礼の中で共有をし、記録を残している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・毎回の支援についての記録を残し、支援の様子を把握できるようにしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的にモニタリングを行ったり、保護者様と面談させて頂いたりし、状況を確認した上で、支援計画の見直しを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		・ガイドラインを基に日々の活動プログラムと照らし合わせて支援を行っている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		・児童への声かけをする際に、児童の特性に応じた問いかけの仕方を心がけており、選択する機会を設けている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・児童発達管理責任者だけではなく、必要に応じて児童の発達や保護者様の事が分かる職員が参加しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・保護者様のご要望に応じて連携を行っている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		・保護者様を通して進路やテスト結果、個人懇談のお話等を共有していただいている。 又、学校をはじめ、様々な関係機関と連絡調整、情報共有、訪問と連携を密にしている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		・保育所、幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等に限らず、様々な関係機関と連携を密にし、情報共有を行っている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		・担当者会議を含め、情報共有を行っている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		・児相発達支援センターが主催する交流会等に定期的に参加している。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○	・きらりひろばは、利用外のお子様でも参加可能となっている。	・個別支援が基本な為、難しいかもしれないが、社会参加が課題の児童には機会を設ける必要性を感じている。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		・事業所連絡会等の研修・交流会に参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・フィードバック時等に保護者様に話をお伺いしている。	

	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○	・職員はペアレンディング研修を受講する機会があった。	今後、家族支援を充実させていけるよう事業所全体で取り組んでいく。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・契約時に説明を行っている。また、常時利用者負担等についての問い合わせに応じている	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・保護者様、児童、それぞれの思いを聞き取り、支援に反映させるようにしている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		・計画更新、新規契約の際には、保護者様が個別支援計画について説明を行い、同意を頂いている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・日々の支援の際やモニタリングの際にご相談を受ける事があり、その都度助言を行い、支援をさせて頂いている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○	・きらりひろばできょうだい児の交流の機会がもてている。	・きらりひろばやその他の機会に保護者様の交流会は今後企画していきたい。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・苦情があった際は迅速に、また真摯に対応を行えるよう、体制を整えている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		・ブログやInstagramを定期的に更新している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・鍵付きの書庫に保管し、事業所職員内での必要な情報共有であっても、共有方法に十分な配慮して行っています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・視覚ツールを用いる等、利用者様や保護者様一人ひとりに合わせて対応している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		・イベント案内を地域以外にも行っている。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・それぞれのマニュアルがあり、訓練も定期的に行っている。児童参加型の防災訓練を実施している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・計画を作成し、月に1回「火災」「水害」「台風・竜巻」「地震」「不審者」「爆発」の中から1つ、防災・防犯訓練を開催している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		・服用している薬の種類等が変わった際には、保護者様に共有いただいております、その都度職員間で共有している。児童個人ファイルにも記載している。 ・アセスメントシートやてんかん発作に関しては独自のシートに記載している。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○	・食事提供は行っていない。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		・計画を作成し、計画に沿った対応をしている。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		・初回契約時に安全確保に関する説明を行っている。取り組み内容に関して変更がある際は適宜保護者に周知を行っている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・ヒヤリハットを作成し、職員全体で共有している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・行政の行う虐待防止研修に参加している。 また、法人内でも年に3回研修の機会を設けている。	

	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○	社内マニュアルにやむを得ない場合の対応は明示してありますが、現在、身体拘束を行う児童はいません。必要な際は個別支援計画等に記載をし、保護者様とも綿密なお話をした上で、職員全体で統一した対応がとれるようにする。	
--	----	--	---	--	--